

anyWarp

ソフトウェア品質状況、推移、傾向のビジュアル化を
容易に低コストで実現。

C++言語に対応、C言語と混在環境でも利用可能!!

Coding Standard
コーディング基準策定

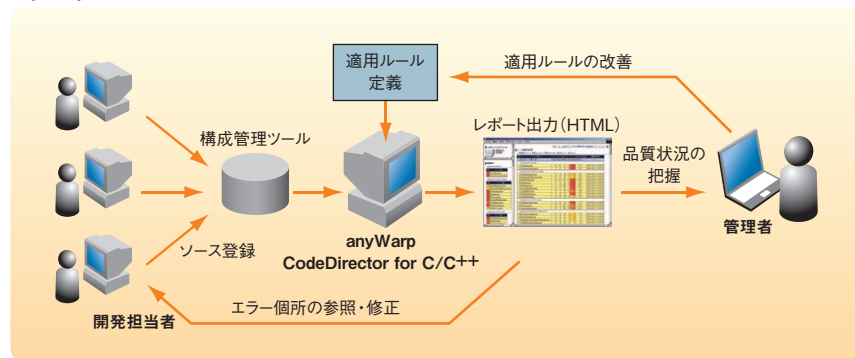
コードインスペクション
Code Inspection

- あらかじめ定めたコーディング基準に従って開発する、標準的な開発環境を容易に実現できます。
- 自動的に繰り返しコードチェックを適用することにより、バグやコーディング規約違反を早期に発見できます。
- これにより、ソフトウェア品質の向上と開発リスクの低減を実現します。
- インスペクション結果を見える化できるため、組織単位での開発品質の向上を容易に実現できます。
- CMMI®プロセス改善でのピアレビューを支援するツールとしても有効です。
- IPA/SEC策定の『コーディング作法ガイド(V1.1)』に対応しています。

サーバ集中型により、品質状況を見える化。組織的な品質管理を実現。

自動的&繰り返しコードインスペクション。常に漏れなく確実にチェックできます。

anyWarp CodeDirector for C/C++ 概要



■導入負担なく、だれでもすぐに利用可能

開発担当者や管理者がウェブブラウザで容易に結果を共有できます。

■構成管理ツールとの連携

ソースコードの取得からレポート出力まで、人手を介さずにコードインスペクションを実行できます。

■適用ルールの設定

- ・適用するルールを選択できます。
- ・各ルールに定義されている重要度やプロパティを変更できます。

■拡張ルールの開発

・プロジェクト独自のルール開発を日立ソリューションズで支援いたします。

ルール解説、チェック結果レポートなどにより、ソースコードの品質把握が容易に行えます。

HTML形式で出力される各種レポート

■サマリレポート

プロジェクト全体の状況をレポートします。

- ・指摘件数（総数／重要度別）
- ・ソース数／ステップ数
- ・推移状況を表+グラフで表示

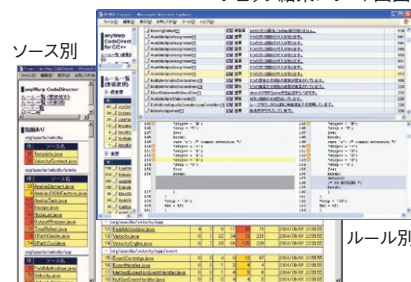
サマリレポート



■チェック結果レポート

- ・ソースとチェック結果を連動表示
- ・修正前ソースとの差分表示
- ・プロジェクト別の問題を判断可能
- ・母体ソースとの差分表示

チェック結果レポート画面

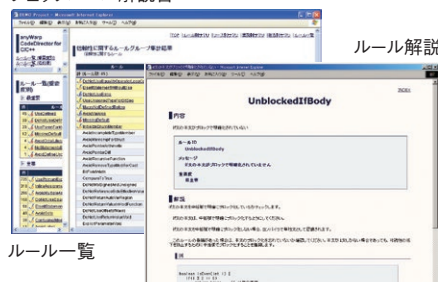


■チェックルール解説書

適用したチェックルールの解説書です。

- ・プロジェクト内の簡易コーディング基準書として、また教育資料としてもご使用いただけます。
- ・適用チェックルール一覧 ・各ルールの解説書

チェックルール解説書



その他にも色々な機能があります。

- ・MISRA、IPA/SECルールにデフォルトで対応。
- ・過去バージョンからの継続指摘を自動抑止。
- ・構成管理 (CVS,VSS,SVN等) と連携。
- ・Visual Studio、High-performance Embedded Workshop、EclipseなどのIDEと密接に連携。
- ・SQLCのCコード部分をチェック可能。
- ・Windows7環境で実行可能。

体験版ダウンロードサイトのご案内

www.hitachi-solutions.co.jp/anywarp_codedirectorforc/sp/download.html

※CMMIは、カーネギーメロン大学の登録商標です。 ※IPA/SECは、独立行政法人「情報処理推進機構 ソフトウェア・エンジニアリング・センター」の略です。 ※Windows7、Visual Studioは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。 ※anyWarpは、株式会社日立ソリューションズの登録商標です。 ※その他、本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。 ※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記していません。 ※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。 ※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。 ※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/anywarp_codedirectorforc/

S12K-09-02 2012.05